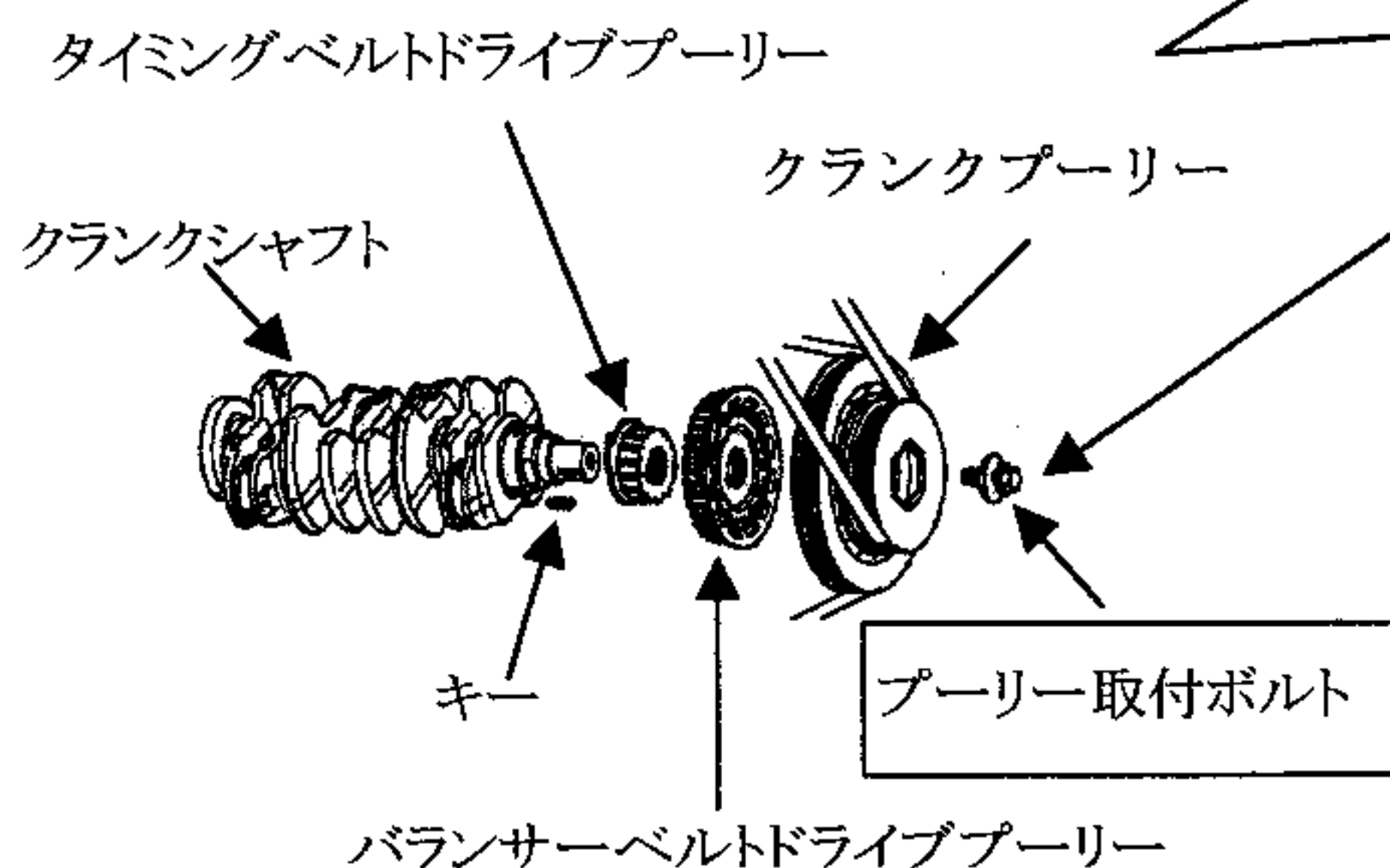
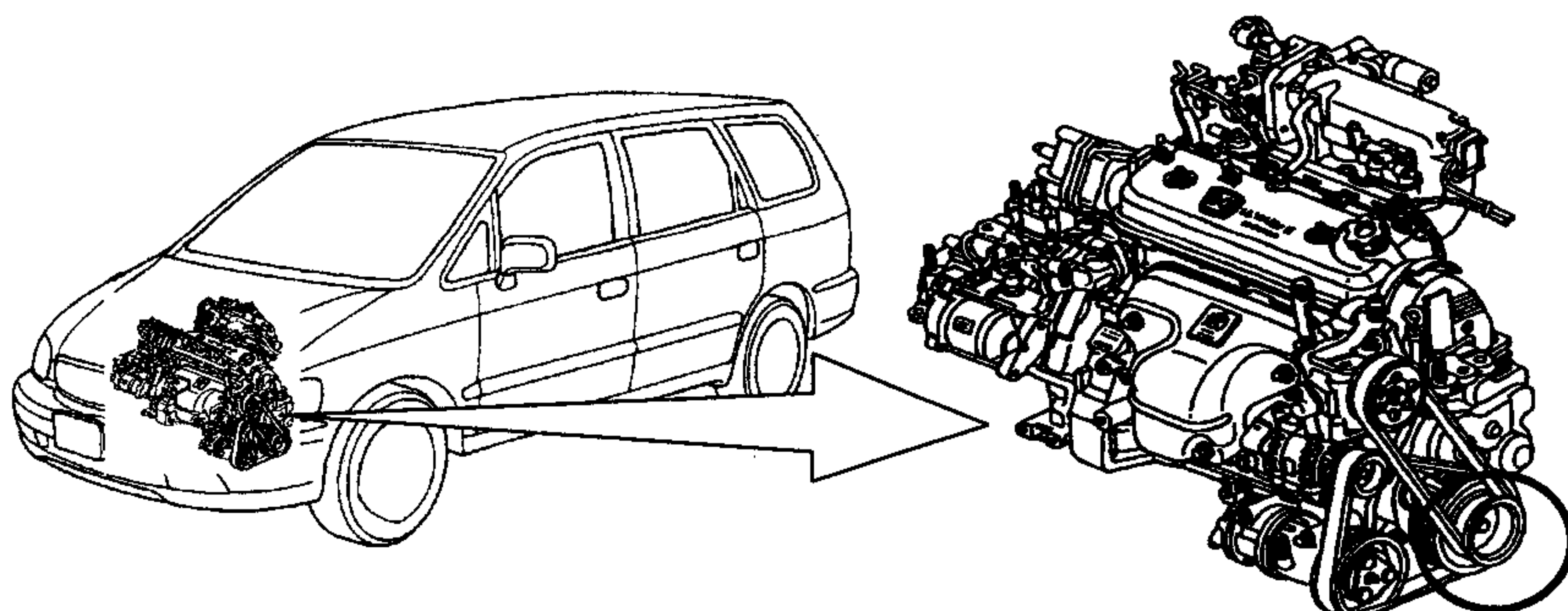


改善箇所説明図



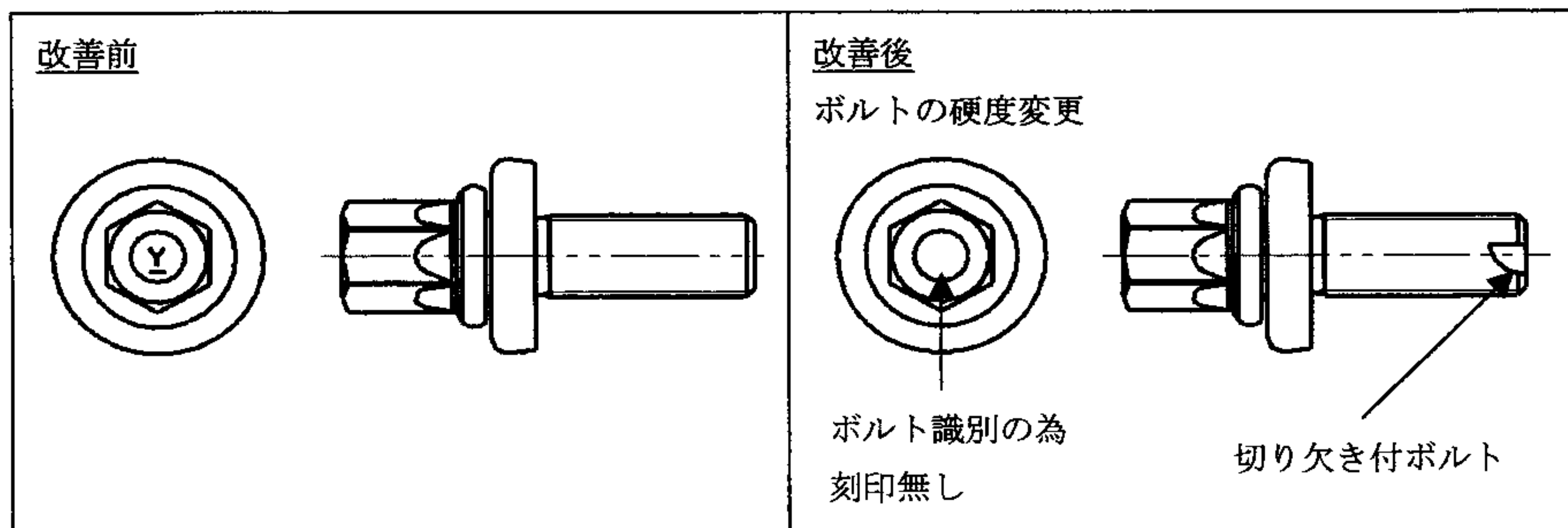
不具合発生箇所

原動機において、クランクシャフトの製造工程管理が不適切なため、プーリーボルト取付ネジ部に残留物が付着しているものがあり、プーリー取付ボルトの締付力が不足し、そのままの状態で使用を続けると、当該ボルトが弛み、異音が発生し、最悪の場合、クランクプーリーから補機駆動用ベルトが外れ、充電警告灯が点灯するとともに、ハンドルの操作力が增大するおそれがある。

注： は交換部品を示す。

改善措置の内容

全車両、プーリー取付ボルトを対策品に交換するとともに、クランクシャフト及びキーを点検し、当該部位に損傷のある場合は、良品と交換する。



識別：プーリー取付ボルトのボルト頭部に黄ペイントを塗布する。